特別
へ13
4271
47

特別
へ13
4271
48

仮名読八犬傳

第廿五編

上冊

特別
へ13
4271
47

へ13
4271
87

91-2290

窮謂。世間の人。貴賤各異なれども。親親仁民愛物の心ハ。天の附與する處。日日これを存して忘るべからざる。若夫博く施し衆を済ふ。卑賤の者のことふあるべし。只その分に隨ひて。物を愛育する。賤を身をも行ひ易く。聖人の道及ぶべきなり。自慢するハ則是自棄自暴なり。豈是をしも人とのたまへや。周禮に民數を王に獻れバ王拜して之を受く。王者ハ民を以て天とす。是故に道をもて博く民に仁愛あり。譬小事ことなれども。世人の為ふるところ。必一も廢すべからざるハ。されバ本書を其仍るこの國字讀八犬傳も。彰善懲惡の意を述べれバ。世の迷津の一筏ぞ。小補なりとすべくば。常時不易陳奮漢ハ。婦幼の為ふ厭はるべく。大方の為ふ厭はんと思ひなるも自序とくとらく

安政四丁巳歳初春新鐫

曲亭琴童識

澤り江毛酒
琴童題詠
甲金
土丈二

一經齋芳艮
琴童題
鮒三
石龜屋
呼善

道

河
信

つづき
信乃道節
夏
重

現
角
有
夏

信
道

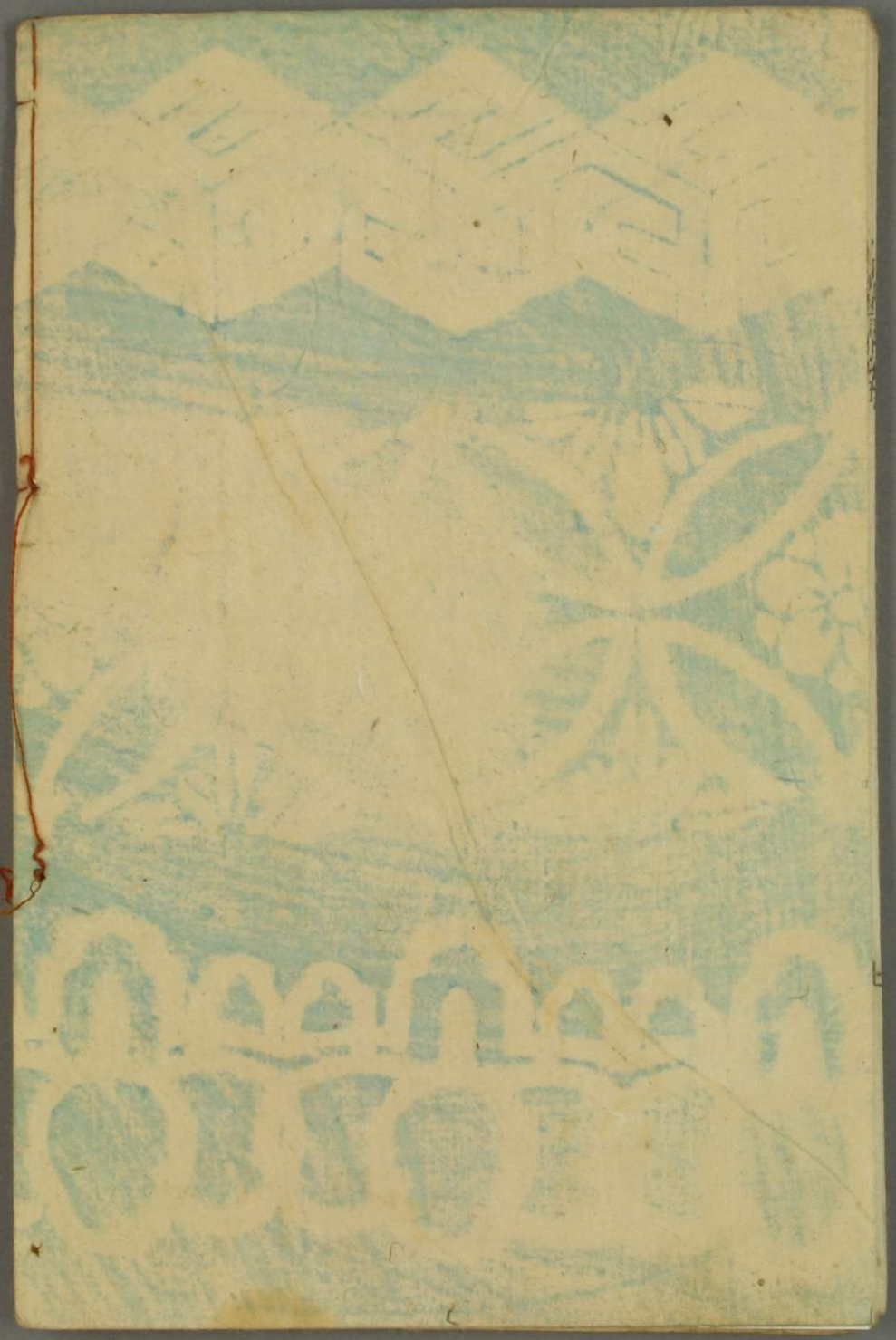
信
道

有
夏

夏
有
重
道
信
現
角

琴童抄録　國芳画

假名讀人名



特別
へ13
4271
48

かなよみ 八犬傳 二十五へん

為永春水著

一勇斎国芳画

下冊

ハ13 4271 48
91-2291

道

道
信

小
荘
大

めでたしーとさん
平太郎ちり
ちりそ

由亭琴童抄錄

一勇齋國芳畫

曲亭琴童綠

一勇斎國芳画　并世五編

假名續八犬伝

業壽堂梓